

# 学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.3 平成27年8月7日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

## ○7月31日 (金) 医療講演会

対象：1年生学励コース(全員)

講師：荒川 正昭先生(元新潟大学長・医師)

日時：平成27年7月31日(金) 13:30~15:30

会場：新潟西高等学校 会議室



### 荒川正昭(あらかわ まさあき)先生

#### PROFILE

昭和55年/新潟大学医学部 内科学第二講座教授

平成6年/新潟大学医学部長

平成10年/新潟大学長

平成14年/新潟県福祉保健部参与(～現在に至る)

平成16～19年/大学入試センター理事長

平成22年/新潟県健康づくりスポーツ医科学センター長  
(～現在に至る)

平成24年/一般財団法人新潟県地域医療推進機構理事長、  
新潟大学名誉教授、大学入試センター名誉教授・顧問、  
日本内科学会、日本腎臓学会、日本リウマチ学会、  
日本心療内科学会名誉会員、など

荒川正昭先生は、長らく新潟大学医学部で医師として、また教授として教鞭をとられて御活躍されてきました。現在は「新潟県福祉保健部参与」・「新潟県健康づくりスポーツ医科学センター長」として、「肥満・糖尿病・メタボリックシンドロームの予防」・「生活改善に関する外来診療や相談」・「スポーツ選手の医学サポート」の面から、県民の健康に広く貢献されています。さらに、「新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター・魚沼基幹病院」を運営する「新潟県地域医療推進機構理事長」として、多忙な毎日を送っていらっしゃいます。

新潟西高等学校の「医療専攻」プログラムは、今年度新入生の該当者が4期生となります。荒川先生は本校の「医療専攻」プログラムをスタート時から応援してくださっていますが、その御縁から今年度も新入生学励コース全員に向けて御講演を賜ることとなりました。

今回の御講演でも、大学に進学する意義や、体力・気力・学力の増進の意義をお話してくださいました。質疑応答の場面では誠実に御回答くださり、医師・教育者としての真摯かつ温かなお人柄に触れることができました。

来年度、2年生での「医療専攻」のメインプログラムを希望する生徒は勿論のこと、他の学励コースの皆さんにとっても、人間的成長と進路実現を志す契機となったことでしょう。



1年生普通科学励コース生徒全員の受講風景。



御講演後の質疑応答・積極的に質問しました。

### 来年度、医療専攻第4期生を希望している生徒は現時点(1年生・8月)で17名です。

医療専攻プログラムの本格始動は2年生ですが、1年生のためには3回の講演会が予定されています。今回の第1回講演会は学励コース全員対象ですが、特に医療専攻第4期生を希望する皆さんために、講師の荒川先生のプロフィールを事前に配付しました。事前にインターネットなどで荒川先生のお仕事について調べて講演会に臨んだはず。また座席も、前列中央部分に用意しました。先生のお話にしっかりと耳を傾け、医療従事者をめざす皆さんへの励ましを受けとめたことでしょう。

講演後には、質疑応答の時間をいただきました。先生のお話を聴いて考えたこと、医療を志すにあたって不安や疑問に思っていることなど、積極的に質問ができました。

医療専攻では、コミュニケーション能力を各人が伸ばすことをまずはめざしています。第4期生希望者が率先して発言することで、この機会は実り多いものになりました。

### 生徒の感想

荒川先生の講演を聴いて、やはり人間として生きていく上で一番大切なことは「感謝」と「思いやり」だということがわかりました。先生から示された、孔子の「己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」という言葉から、幼い頃に親から「人からやられて自分が嫌だと思ふことを人にするな。」と言われたことを思い出しました。これからも「感謝」と「思いやり」を大切に生きていこうと思います。

(1年学励コース・男子・医療系志望)

今日の講演をお聴きして、医療と教育とは関係があり、繋がっているのだと知りました。医療も教育も心のふれあいが基本であるということです。医師や看護師は患者を治すことが仕事ですが、そのためにはまず、コミュニケーションをとることが最も大切だと思いました。平成24年にノーベル賞を受賞した山中伸弥さんのスピーチのように、過去ではなく今を一生懸命に励み、看護師になるという私の夢に少しでも近づけるように頑張っていきたいと思いました。また、そのためにも、人間として思いやりを持ち、人と人とのふれあいを大切にしていきたいと思いました。

(1年学励コース・女子・看護師志望)

私は将来、臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士の3つの中から、自分の進路を選びたいと考えています。今日の先生の説明で、「大きい夢と高い志を持つ」ことが大事だとわかり、今の自分の夢や志を大事にしていこうという気持ちが強くなりました。これからの自分の課題は、コミュニケーション能力を身につけるということです。そのために、いろいろなことに積極的に励んでいきたいと思っています。先生のお話で感銘を受けたのは、「①『誘惑』から逃げ、しっかりと勉強をするべきだ。②医療従事者は人のために働くのだ。頑張れない人間は辞めなさい。③『看』という字の源は『温かい手とまなざし』だ。④若者には無限の可能性があるのだ。⑤(頑張ったうえで)『限界』を感じることはすごく大事なことなのだ。」ということでした。

(1年学励コース・女子・医療系志望)